

会議概要録

開催概要

名 称：平成20年度 第11回 東区自治協議会 第一部会
日 時：平成21年3月13日（金） 午前10時00分～午後12時10分
場 所：東区役所分館 B 会議室
出席者：委員
 鈴木委員，白井委員，木島委員，権平委員，田中委員，
 村山委員，小暮委員，岩橋委員，橋本委員，和田委員
 ：事務局 政策企画課職員

審議内容

当日は、「自主防災組織の結成促進と活動の活性化について」これまでの議論を集約した資料（別添ファイル参照）をもとに事務局から説明があり，その後，各委員から意見をいただきました。

説明した資料に対する修正・加筆等について

資料中の

「自主防災組織が活発に活動しない原因・問題点」

行政における問題点

多数の自治会が防災訓練を実施する場合，指導にあたる消防署が対応困難な場合がある。

上の項目に対する対応策として下記のような内容を追加してはどうか。

- ・ 自治会ができるだけ合同で防災訓練を実施する。
- ・ 防災訓練を毎回消防署職員の指導に頼るのではなく，基本的な訓練についてはこれまで研修を受けてきた人が自主防災組織内での訓練の指導役となって実施してはどうか。
- ・ コミ協内で自主防災組織の訓練指導役に対して指導者としての認定書を出してはどうか。
- ・ しっかりした訓練マニュアルを整えておけば，ある程度自治会で自主的に訓練ができるのではないか。
- ・ 現在消防署では毎年，各自治会の担当者に自主訓練や救助法などの研修を実施しているが，その開催時期を自治会役員交代後にするなどの改善が必要（自治会の役員交代期直前の3月ころに実施しても効果が上がらない）。
- ・ 訓練の研修を受けた経験者は，自主防災組織の役員を退いたとしても何らかの形で継続的に防災訓練に関わってもらう必要がある。

「自主防災組織」の議論，今後の進め方について

- ・ 今回，意見集約された資料をもって議論を終了とするのではなく，部会として

更に具体的な行動計画(提案)にまで踏み込んで検討していくべきではないか。

- ・ 例えば資料中の支援策として「自主防災組織の結成に向けた手順,手続き方法などを簡潔にわかりやすくアピールする。」とあるが,そのアピール方法を具体的に示すなどしてはどうか。

アピール方法という点で言えば,自治協議会が学校視察・PTA 役員との懇談会を行ない,そうした場で自主防災組織の大切さ意義などをアピールしてはどうか。PTA から自主防災組織を立ち上げていこうという声が上がってくることも考えられる。効果的なアピールになるのではないか。

学校の子ども達を經由して地域の防災訓練実施の案内をしたところ,結果的に大変多くの親御さんからも参加していただいた。学校(子ども)を通じて呼びかけることの効果を感じた。

その他意見

- ・ 東区内各自治会での自主防災組織の結成状況や訓練実施状況がわかる資料を提供してほしい。その上で,未結成や訓練未実施の自治会を抱えるコミ協(コミ協の会長)に対して集中的に働きかけしていくことが効果的であると思う。まずはコミ協(特に会長)から危機感を持ってもらう必要がある。
- ・ 自主防災組織に係るこの部会での議論,提案を区だよりでアピールできないか。
- ・ 将来的には,被災経験地に向いて被災時の避難所運営,物資配布等のノウハウを学びに行くことも必要である。
- ・ 自主防災組織の活性化に向けた支援策の内,行政としてできることの一つに「災害に対する準備状況の市民への周知や災害時の具体的な行動計画(マニュアル)の作成に取り組む。」とあるが,早急な取り組みが望まれる。
- ・ まちづくり計画の中で「想定避難者数の一食分を備蓄する」との記述があるが,どのような計算になるのか解説が必要だ。

現在,区の総務課でコミ協を対象に防災検討会議を開催し,アンケート調査などを行っているが,それらの集計結果発表の際にでも明らかになってくるのではないか。

区ビジョンまちづくり計画の事業評価調書について

調書の様式(試案)について各委員から意見をいただき,基本的にはH20年度の当初事業予定と結果,事業進捗状況の説明,委員からの評価コメントといった項目による,わかりやすいシンプルな構成とすることにしました。

最後に

今回の部会については,自治協議会の委員改選に伴い委員メンバーの入替りもあることから,5月以降の開催となる(開催日未定)ことを連絡しました。